

米国 I S M製造業景気指数 (13年2月)

発表日：2013年3月1日 (金)

～緊縮財政が強まっているものの、民需と外需に支えられ製造業活動は活発化～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
12/01	53.7	56.5	54.9	55.3	49.5	52.2	52.5	55.5	55.0	52.5
12/02	51.9	54.9	54.8	52.1	49.5	48.4	52.0	61.5	59.5	54.0
12/03	53.3	56.8	55.9	55.6	50.0	48.0	52.5	61.0	54.0	53.5
12/04	54.1	57.6	59.0	56.8	48.5	48.7	49.5	61.0	59.0	53.5
12/05	52.5	57.2	54.1	55.9	46.0	49.2	47.0	47.5	53.5	53.5
12/06	50.2	49.6	52.4	55.7	44.0	49.5	44.5	37.0	47.5	53.5
12/07	50.5	47.5	53.3	53.2	49.0	49.7	43.0	39.5	46.5	50.5
12/08	50.7	48.9	48.9	52.6	53.0	50.2	42.5	54.0	47.0	49.0
12/09	51.6	51.7	51.4	53.7	50.5	50.5	44.0	58.0	48.5	49.5
12/10	51.7	52.8	53.3	52.3	50.0	49.9	41.5	55.0	48.0	47.5
12/11	49.9	51.1	53.1	50.1	45.0	50.1	41.0	52.5	47.0	48.0
12/12	50.2	49.7	52.6	51.9	43.0	53.7	48.5	55.5	51.5	51.5
13/01	53.1	53.3	53.6	54.0	51.0	53.6	47.5	56.5	50.5	50.0
13/02	54.2	57.8	57.6	52.6	51.5	51.4	55.0	61.5	53.5	54.0

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

I S M製造業景気指数 は54.2と前月比1.1% ポイント上昇

13年2月のI S M製造業景気指数は、54.2と拡大縮小の分岐点である50を3ヵ月連続で上回ったうえ、前月比で1.1%ポイント上昇し、製造業の拡大モメンタムの強まりを示した(市場予想中央値52.5、当社予想52.1)。

緊縮財政が強まっているが、米国国内最終需要が緩やかな拡大傾向を辿っているほか、財政の崖の回避、世界的な生産活動の持ち直しやハイテク部門の調整進展等を背景に、新規受注、生産、在庫が上昇した。総合指数への構成項目別の寄与度では、入荷遅延(前月比▲0.4%ポイント)、雇用(前月比▲0.3%ポイント)がマイナス寄与となった一方、新規受注(前月比+0.9%ポイント)、生産(前月比+0.8%ポイント)、在庫(前月比+0.1%ポイント)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比+1.1%ポイント上昇した。

活動の拡大した業種は 15業種に増加

活動の拡大した業種数は、全18業種中15業種(前月13業種)に増加した。拡大した業種は、アパレル・皮革・同製品、その他製造業、紙製品、電気装置・同機器・同部品、プラスチック・ゴム、加工金属、家具・同関連製品、石油・石炭、木材製品、印刷・同関連支援、輸送機械、非鉄、食品・飲料・タバコ、一般機械、一次金属。一方、縮小した業種は繊維、コンピューター・電子機器、化学製品の3業種(前月4業種)に減少した。

新規受注の拡大した業種数は15業種（前月10業種）に増加した。新規受注の拡大した15業種は、アパレル・皮革製品、家具・同関連製品、その他製造業、紙製品、一般機械、非鉄、加工金属、輸送機械、プラスチック・ゴム、一次金属、電気装置・同機器・同部品、食品・飲料・タバコ、コンピューター・電子機器、化学製品、石油・石炭製品。一方、縮小した業種は木材製品だけとなった。

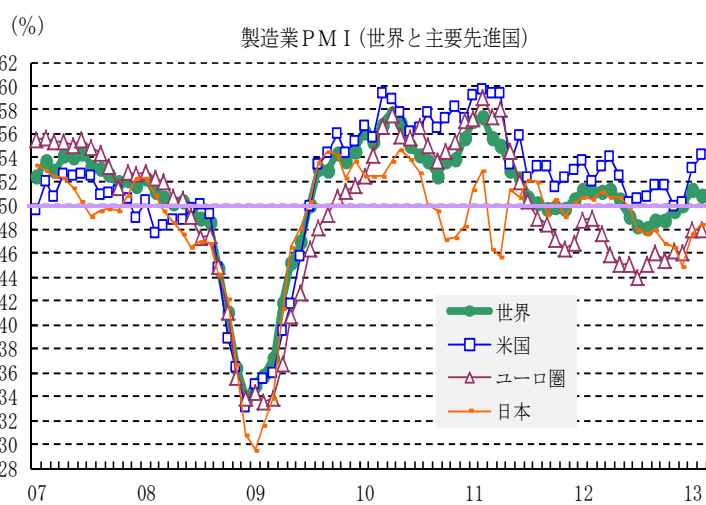
生産の拡大した業種数は13業種（前月9業種）に増加した。生産の拡大した13業種は、木材製品、紙製品、電気装置・同機器・同部品、その他製造業、一次金属、アパレル・皮革製品、印刷・同関連支援、加工金属、輸送機械、プラスチック・ゴム製品、食品・飲料・タバコ、コンピューター・電子機器、一般機械。一方、縮小した4業種は、繊維、石油・石炭、化学製品、家具・同関連製品。

（注）下線は拡大を続けた業種

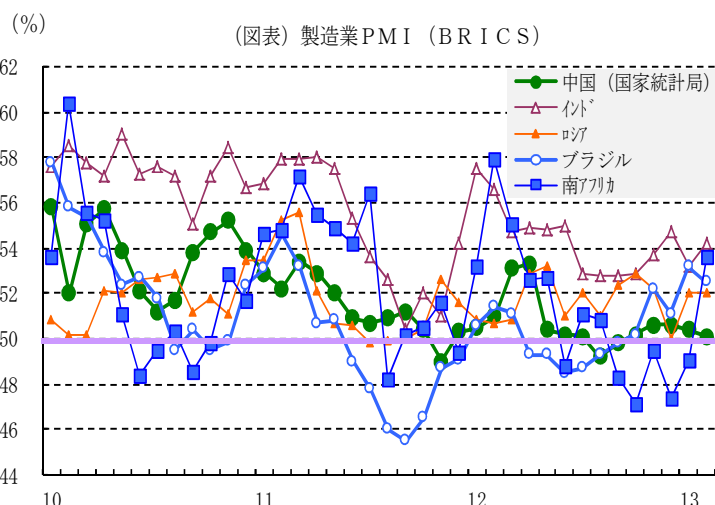
2月の世界製造業PMIは拡大モメンタムを弱めた

2月の世界製造業PMIは50.8（前月51.4）と3ヵ月連続で50を上回ったが、前月から低下し、拡大モメンタムは弱まった。グローバルな製造業部門の調整が終了したが、欧州など需要の弱い国の影響等を受けた。

50を下回った国は、日本、ユーロ圏、英国、ノルウェー、チェコ、豪州、ポーランド、ベトナムなど。一方、50を上回った国は、米国、中国（国有企業中心）、中国（中小企業中心）、アイルランド、デンマーク、スウェーデン、台湾、インド、ロシア、ブラジル、南アフリカ、トルコ、ハンガリー、インドネシアなど。



（出所）ISM, Markit Economics



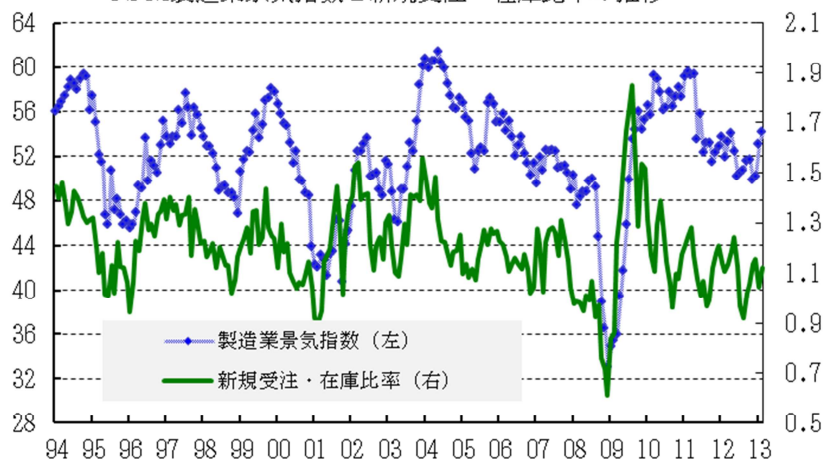
（出所）Markit

ISM製造業景気指数は緩やかな拡大を示す水準を維持する見込み

今後に関しては、米国企業が過剰な在庫や雇用を抱えていないほか、緩やかながらも持続する米国内需要の成長、世界経済の持ち直しなどに下支えされ、ISM製造業景気指数は製造業部門の拡大を示す水準を維持すると予想される。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ISM製造業景気指数と新規受注・在庫比率の推移



(出所) I S M

前月比で輸出の持ち直しを示唆

輸出受注D Iは、2月に53.5と前月比3.0%ポイント上昇し、拡大縮小の分岐点である50を上回った。世界PMIが50を上回っているように世界的な製造業の在庫調整の進展により、輸出の小幅持ち直しが示された。

各国の米国向け輸出は今後加速する可能性

輸入D Iは、2月に54.0となり、前月比4.0%ポイント上昇したほか、新規受注D Iが57.8と50を大幅に上回っていることから、日本など先進国のほか、BRICS等の新興国の米国向け輸出の拡大ペースが今後加速する可能性が高い。

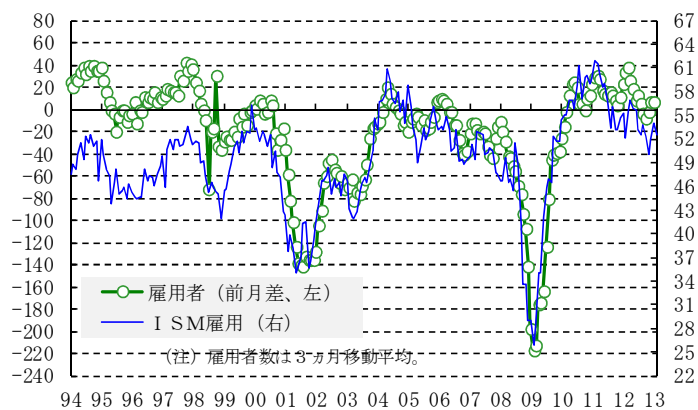
雇用D Iは52.6と製造業雇用の小幅増加を示唆

雇用D Iは、2月に52.6と50を上回ったものの、前月比1.4%ポイント低下しており、製造業部門雇用者数の小幅増加を示している。米国経済や政策の先行き不透明感、価格競争の激化によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続こう。

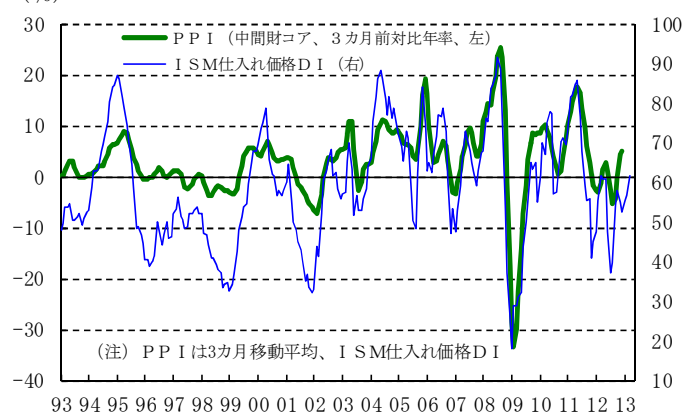
仕入価格D Iは61.5と上昇したものの、川中でのインフレ圧力は弱いまま

仕入価格D Iは、2月に61.5と前月比5.0%ポイント上昇したが、水準が低いことから、川中でのインフレ圧力は弱いままと判断される。

(千人) ISM雇用判断と製造業雇用者数の推移



(%) 生産者物価とISM仕入れ価格D Iの推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。